

**第9回あいち就職氷河期世代  
活躍支援プラットフォーム**  
～就職に向けた支援事例～

## 住所

愛知県名古屋市名東区平和が丘1-2

## 管轄

【名古屋市16区うち】

東区・千種区・昭和区・名東区・天白区・守山区の6区



名古屋市東部に隣接する

日進市・長久手市・愛知県東郷町の2市1町



## 管轄内の特徴



●名古屋市の人口約232万人のうち、管轄する6区の人口及び世帯数はともに市全体の**約37%**を占めている。



●雇用保険適用事業所の産業別にみると「建設業」が最も多く、次いで「卸売業・小売業」「医療福祉」の順となっており、この3業種で**全体の約半数（49%）**を占めている。

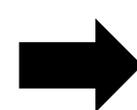
●日進市・長久手市・愛知郡東郷町の人口は、近年、若いファミリー世帯をはじめ、名古屋市の**ベッドタウン**として転入超過が続いている。

## 総員数

名古屋東公共職業安定所（本所） **116人**

出先機関

**16人**



**計132人**

## 令和4年度新規求職者数

**23,565人（愛知県下18所中2位）**



## 氷河期専門窓口について

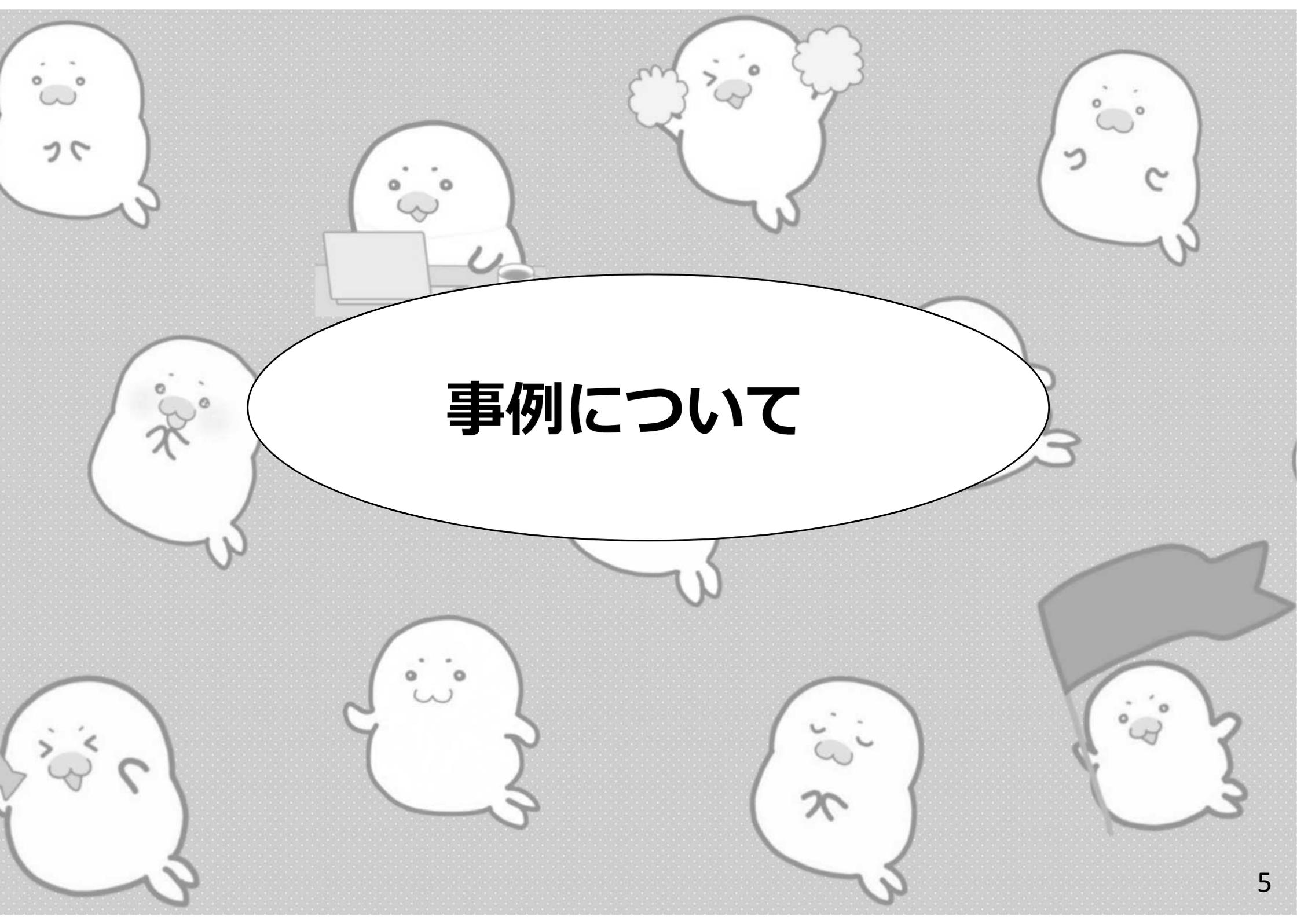


【ハローワーク名古屋東1階 職業相談部門】の  
6コーナーの1つとして、氷河期世代向けに**担当者制による  
個別支援**を行っている。

令和4年度の氷河期専門窓口の新規利用数は**397人**。

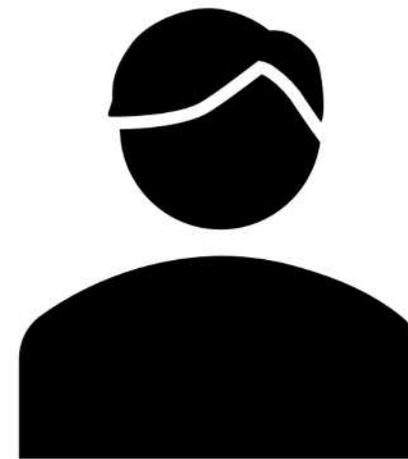
正社員就職者数214人は愛知県下6カ所ある  
氷河期専門窓口の中で**トップ**。





# 事例について

**対象** 30代後半 男性



## 支援にいたる背景

- 大学卒業後、投資等で生計が立てられていたため、**就労経験がなかった。**
- 30代後半、年齢等を考え、**就労を目指すようになった。**
- IT関連の仕事に就くことを希望。自身で探した**氷河期世代支援事業のIT訓練**に参加。一度システムエンジニアの会社に応募し、面接まで進むが、不調に終わる。IT訓練のクラスメイトに**ハローワーク名古屋東の氷河期専門窓口**の利用者がおり、その方に勧められ**ハローワークへ来所し、支援を希望。**

## 支援開始時の印象



●口数が少なく会話が弾まないタイプ。  
スキルは高く、コミュニケーションに難があり、  
**大学卒業後10年以上、就労経験もないので就職に繋がるまでには  
時間がかかるだろう**という印象だった。

●ただし、自分から積極的に関わるタイプではないが、クラスメイトのアドバイスを受け入れ行動できる、**とにかく素直な方**だと感じた。

## 支援中の様子



●就労意欲はあるが、**面接で上手くいかなかった事もあり、**  
求人に応募するなどの行動に**一歩踏み出せない状況**が続いた。

●就労へのモチベーションが落ちていたが、夏休みに実家に帰省した際に、甥にプログラミングを教えたところ、**どんどん理解出来るようになる姿を見たことで、自身のスキルに自信が持て、喜びを感じるようになる。****それによりモチベーションが回復し、積極性が出る。**

➡ ここが大きな転換ポイント

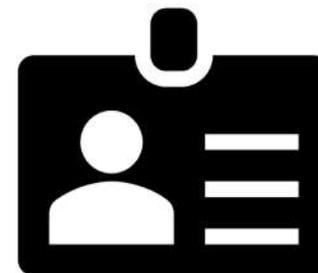
## 支援中の様子



●愛知労働局の氷河期支援委託事業の「合同企業説明会」参加企業にIT関連会社があり、担当アドバイザーより「話だけでも聞きに行ったら？」と強く参加を推奨した。



●出展していたIT関連企業に話を聞くと、社長自ら参加しており、そこで意気投合。会社に応募するよう背中を押され、4日後に面接。即日採用決定、翌月より勤務スタート。



## 定着支援



●勤務中、昼休みを利用し電話連絡。**人間関係が良好**で働きやすく、すぐに**仕事を任せてもらえた**と話していた。

●**担当アドバイザーの土曜日開庁出勤に合わせて来所。**

順調に働けており、プロジェクトが一つ終了したところで**昇給の話**をしてくれた。

●プロジェクトリーダーが退職後、リーダーを引き継ぐことは大変ではあるが、先輩を目指し**仕事で通用するスキルを身につけたい**という**目標ができた**とのこと。

## 合同説明会参加のきっかけ



「採用で苦勞しており、人集めが難しい状況だった。」

## 会社の取組み



- **人材育成**に力を入れており、社内研修を充実させている。
- 最初に「なぜこの仕事が必要か？」をしっかりと伝える。
- **6割～7割が未経験者**だが、どこの会社でも通用するスキルを身につけられるよう育成することで、社会に還元できると考えている。

## 氷河期世代の課題



- IT現場は若年層が多く、自分よりも年齢が若い方の中でも適応出来るか。

☞ 長期のライフプランを考え、2～3年のキャリアプランを立てることで、**壁を乗り越える事が出来る。**

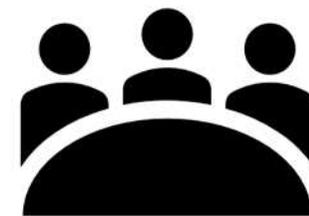
(初めの2～3年を乗り越えられれば定着に繋がる。)

## 氷河期世代の強み



- 社会人経験があることで、現場での**コミュニケーション能力**や**ビジネスマナー**等が身につけており、活かせる事がある。

## やる気とコミュニケーション能力



仕事について  
事前準備勉強を  
している。

相手の意図を  
くみ取り対応する力

早く一人前になれる。



氷河期世代に伝えたいこと



仕事に対する**謙虚な気持ちを持つ**ことを大切にし、  
**出来ることから積極的に**取組んで欲しい。

また、自分の**アピールポイント**を明確にしておく  
こと。



## 事例についての振り返り

- **就職までの支援期間は3ヶ月。**改めて、行動にうつすことの大切さを痛感した事例。
- 長期にわたり人と関わる事が少なく、コミュニケーション能力も高くはない。  
就労経験がなく、**就職するにはハードルが高いケース**（通常の応募であれば書類選考で落ちてしまう可能性が高い。）と思われたが、実際は**とんとん拍子に就職まで結びつき勤務も継続。**

一般的なコミュニケーションが得意でなくても、得意分野のスキルを高め、素直に人のアドバイスを聞けるという、長所を理解してくれる会社と出会う機会を作れた事が良い結果に結びついた。今一步踏み出せない求職者の背中を後押しすることで、行動に移せるような支援も大事だと思いました。

